

# 宮城

MIYAGI

## 当社の防火防災の取り組みについて

株式会社吉岡屋 総務部 相澤 達耶

株式会社吉岡屋は、明治44年に仙台市で町の小さな酒屋として創業して以来、地元根差した事業を展開してまいりました。

現在は業務用酒類販売を柱に、飲食不動産事業、ディスカウントストアやワイン・ウイスキー専門店など、幅広い分野で地域のお客様に喜ばれるサービスを提供しております。

また、地元の各種団体に所属し、地域活性化につながるイベントや活動にも積極的に参加するなど、「地域とともに歩む企業」であり続けることを大切にしています。

長い歴史の中で、私たちは「安心・安全」を企業活動の基盤と考えてきました。

特に近年は地震や豪雨などの自然災害が頻発し、火災リスクも年々高まっていることから、社員一人ひとりが防火防災に対する意識を高め、緊急時に迅速かつ冷静に行動できる体制づくりを重要な課題と位置づけています。

お客様、社員、そして地域社会の安全を守ることは、吉岡屋にとって最も基本的で欠かせない使命です。

その取り組みの一環として、社内での火災発生を想定した避難訓練を毎年実施しています。訓練では、非常口や避難経路を全社員が確認し、迅速かつ安全に避難する方法を学ぶほか、初期消火や119番通報の手順も実践します。実際の現場を想定した繰り返しの訓練は、いざという時に冷静な判断を可能にする大切な備えであり、社員全

員が防火防災を自分ごととして捉える機会となっています。

また、社外での研修にも積極的に参加しています。令和7年9月12日には、防災安全協会宮城地区が主催する消防技術研修会に社員が参加しました。

会場となった仙台環境開発スポーツパーク宮城広瀬では、災害への理解を深めるための多彩なプログラムが行われました。

地震発生時の屋内の様子をリアルに体感できる「災害VR体験」では、家具の転倒や視界の悪化など、実際に起こり得る危険を肌で感じ、日頃の備えの重要性を改めて認識しました。

さらに、消火器を使用した初期消火の実演や119番通報の実践研修、屋内消火栓の取り扱い方法の習得など、実践的な内容を通じて現場で役立つ技術を身につけました。

研修の最後には、仙台市防災・減災アドバイザーによる講話を受講し、災害時に自身が果たすべき役割について学び、大きな刺激を受ける機会となりました。

これらの社内外の取り組みを通じて、吉岡屋は防火防災の知識と技術を日常業務に活かし、社員全員が「自らの安全を守る」だけでなく「地域の安全を支える」存在となることを目指しています。

今後も避難訓練や研修を積極的に行い、設備の点検やマニュアルの見直しを継続しながら、災害に強い企業づくりを進めてまいります。

